

三島分署をなぜなくすのか?



6月議会 ～日本共産党 三谷つぎむ議員の質問から～

三島分署は、なぜ不要なのかについて質問しました。

市は、合併特例債が使える平成26年度末までに、市民文化ホールを建設し（場所は正式には未定）、三島会館跡地に消防庁舎を建設し、その中に消防三島分署、消防団本部、水道局を移転包含する考えを示しました。

多くの住民からは、「三島病院が県立でなくなり、診療科目が激減して不安なのに、なぜ、“消防の三島分署”まで無くすのか！」との声が上がっています。

三島分署は建設されてまだ11年しか経っておらず、耐震基準を十分に満たしています。

埋立地内なので、液状化の心配がないとは言えませんが、周辺には多くの住民が生活しており、倉庫等で多くの労働者が働いており、住民の生命や財産を守ることの消防職員の使命には大きなものがあります。

三谷議員は、過去3年間の平均で、川之江・土居・三島分署の出動状況について調査したところ「川之江分署が年間625.3件、土居分署は599件、三島分署は797.3件と、三島分署が一番出動が多いのに、なぜ廃止なのか？廃止理由は成り立たない」と追及。

また、当市の消防体制についても質問したところ「国の基準である158名よりも低く137名で、そのうち7名は本庁などからの出向で、24時間2交替制の隔日勤務。消防学校や病院実習等の研修も必要で、最低人員の確保に苦慮している。三島分署については、“統合ありき”とは考えていないが、消防本部に統合した場合は現有勢力を集約することによって部隊編成が容易になる。三島分署の統合については、さらに検討を重ね、よりよい方向へ考える」との答弁でした。

なお、7月号の広報では、三島分署の矢印が消えていることにお気づきでしょうか。(下記に図)



各分署	川之江	三島	土居
過去3年間の平均出動件数	625.3	797.3	599.0

●ご意見・ご感想をお寄せ下さい。連絡は、下記へよろしくお願いします。

